平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月27日

上場会社名　日本化薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4272　URL　http://www.nipponkayaku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 萬代　晃
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　グループ経理本部経理部長　(氏名) 下山　政行　TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日　平成24年10月5日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	37,466	1.9	6,056	14.0	6,636	20.6	3,984	38.9
24年5月期第1四半期	36,763	1.2	5,313	1.6	5,501	21.4	2,869	30.7

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　3,372百万円　(12.9%)　24年5月期第1四半期　2,988百万円　(180.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	21.98	21.92
24年5月期第1四半期	15.82	15.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	204,747	146,144	67.0
24年5月期	204,674	144,019	66.0

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　137,160百万円　24年5月期　135,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		10.00	―	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 6月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,000	0.7	10,000	△0.1	10,500	5.2	6,200	13.8	34.20
通期	137,000	―	16,000	―	16,000	―	9,000	―	49.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

当社は、平成24年8月30日開催の定時株主総会の決議により、連結決算日を5月31日から3月31日に変更いたしました。当該変更に伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度の期間は、平成24年6月1日から平成25年3月31日までの10ヶ月間となります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	182,503,570 株	24年5月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,217,188 株	24年5月期	1,214,825 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	181,287,041 株	24年5月期1Q	181,316,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年6月28日に公表しました平成25年3月期第2四半期(累計)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・２
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・３
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・３
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要・・・・・・・・・・・４
４．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・７
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(3)　継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・９
(4)　セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・９

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年６月１日から平成24年８月31日まで）の世界経済は、欧州では財政金融問題により低迷が続き、米国では回復にかげりが見られ、中国および新興国でも拡大のテンポが緩やかになるなど、全体として減速感が広がりました。

日本経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつありますが、世界経済の低迷、歴史的な円高、電力供給の制約等の要因により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは３ヵ年からなる中期事業計画Phase Ⅰに沿って、重点事業への経営資源の最適配分、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンの推進、販売品目の整理等に取り組みました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回ったことなどにより、374億６千６百万円と前年同四半期に比べ７億２百万円（1.9%）増加しました。

営業利益は、原価率の改善に加え、利益率の高い製品の売上増加により、60億５千６百万円と前年同四半期に比べ７億４千３百万円（14.0%）増加しました。

経常利益は、前年同四半期に比べ営業外収益が増加し、66億３千６百万円と前年同四半期に比べ11億３千５百万円（20.6%）増加しました。

四半期純利益は、39億８千４百万円と前年同四半期に比べ11億１千５百万円（38.9%）増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂並びに紫外線硬化型樹脂は前年同四半期を下回りましたが、機能性材料事業全体では前年同四半期並みとなりました。

電子情報材料事業は、インクジェットプリンタ用色素が前年同四半期を上回りましたがフィルム関連製品が前年同四半期を下回りました。ポラテクノグループは前年同四半期並みの実績でした。電子情報材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒に加えてメタクリル酸製造用触媒も好調に推移し、前年同四半期を大きく上回りました。

色材事業は、繊維用染料はカーシート用染料が好調でしたが衣料用が低調、また紙用染料が低迷し前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は189億１百万円（前年同四半期比3.9％増）、セグメント利益は39億３千４百万円（前年同四半期比12.8％増）となりました。

【医薬事業】

国内向け製剤は、薬価改定の影響を受けましたが、「カルボプラチン点滴静注液NK」「ビカルタミド錠NK」、「動注用アイエーコール」が前年同四半期を上回りました。「パクリタキセル注NK」は前年同四半期並みに推移しました。「オダイン錠」、「フェアストン錠」は前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では前年同四半期並みとなりました。

輸出は、ブレオ類（抗がん剤）が前年同四半期を上回りましたが、輸出全体では前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料は前年同四半期を上回りましたが、醗酵品原料が前年同四半期を下回りました。国内向け原薬全体で前年同四半期を下回りました。

診断薬は、前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は121億１千１百万円（前年同四半期比0.5％減）、セグメント利益は26億４千７百万円（前年同四半期比7.7％増）となりました。

【セイフティシステムズ事業】

前年同四半期は東日本大震災の影響を受けましたが、当四半期は国内での自動車生産の回復とエコカー補助金による需要拡大に加え、中国市場での販売増により、エアバッグ用インフレータ、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータともに前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は50億５千２百万円（前年同四半期比8.8％増）、セグメント利益は７億７千１百万円（前年同四半期比163.7％増）となりました。

【その他】

アグロ事業は、国内・輸出とも前年同四半期を下回り、事業全体でも前年同四半期を下回りました。

不動産事業他は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は13億９千９百万円（前年同四半期比20.4%減）、セグメント利益は１億４千４百万円（前年同四半期比62.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,047億４千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ７千３百万円増加しました。主な減少は受取手形及び売掛金３億３千５百万円、有価証券12億４千８百万円、繰延税金資産(流動資産その他に含む)４億５千６百万円、未収金(流動資産その他に含む)４億８千７百万円、長期貸付金(投資その他資産その他に含む)６億１千２百万円であり、主な増加は棚卸資産20億２千４百万円、投資有価証券７億４千４百万円であります。

負債は586億２百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億５千２百万円減少しました。主な減少は未払法人税等30億４千７百万円、未払費用(流動負債その他に含む)14億３千９百万円であり、主な増加は短期借入金18億５千８百万円、支払手形及び買掛金９億５千１百万円であります。

純資産は1,461億４千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億２千５百万円増加しました。主な増加は四半期純利益39億８千４百万円であり、主な減少は配当金の支払18億１千２百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、円高定着による国内企業への悪影響や欧州の財政金融危機等による世界的な景気の減速懸念があり、依然として先行きが不透明な状況が続くものと思われます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料や医薬バイオシミラーの研究開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成24年６月28日に公表しました平成25年３月期第２四半期(累計)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年６月１日以降（一部の国内連結子会社は平成24年４月１日以降）に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

当社は、連結決算日(当社の事業年度の末日)を５月31日としておりましたが、他社との比較・分析可能な事業計画、決算情報等を提供し投資家をはじめとするステークホルダーに資するとともに、将来のIFRS（国際財務報告基準）への対応を図るために、平成24年８月30日開催の定時株主総会の決議により、連結決算日を３月31日に変更しております。

当該変更に伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度の期間は、平成24年６月１日から平成25年３月31日までの10ヶ月間となります。なお、上場会社である㈱ポラテクノを含む一部の連結子会社については、平成24年４月１日から平成25年３月31日までの12ヶ月間を当連結会計年度の連結損益計算書に取り込むことになります。

また、連結決算日変更に伴い当社と当該連結子会社の決算日が統一されますが、当連結会計年度末の平

成25年３月31日より連結決算日を統一することとし、当第１四半期連結会計期間においては、連結決算日変更前と同様に４月１日から６月30日の３ヶ月間を四半期連結損益計算書に取り込んでおります。これは、当第１四半期連結会計期間から四半期連結決算日の統一を行う場合には、平成24年４月１日から平成24年８月31日までの５ヶ月間を四半期連結損益計算書に取り込むことになりますが、上場会社である㈱ポラテクノにとっては、同社としては未だ開示していない期間の情報が、先行して開示されることとなるためであります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,715	19,758
受取手形及び売掛金	46,927	46,592
有価証券	18,273	17,025
商品及び製品	16,835	18,155
仕掛品	2,144	2,121
原材料及び貯蔵品	6,619	7,346
その他	10,919	9,919
貸倒引当金	△36	△33
流動資産合計	121,400	120,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,072	32,756
機械装置及び運搬具（純額）	16,028	15,816
その他（純額）	12,425	13,761
有形固定資産合計	61,526	62,333
無形固定資産		
のれん	1,622	1,479
その他	2,852	2,728
無形固定資産合計	4,474	4,207
投資その他の資産		
投資有価証券	14,081	14,826
その他	3,073	2,344
貸倒引当金	△89	△24
投資その他の資産合計	17,065	17,145
固定資産合計	83,067	83,687
繰延資産	206	173
資産合計	204,674	204,747

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,790	13,742
短期借入金	6,240	8,099
未払法人税等	5,031	1,983
その他	14,847	13,353
流動負債合計	38,909	37,178
固定負債		
長期借入金	6,934	6,874
退職給付引当金	2,036	1,743
負ののれん	338	300
その他	12,436	12,505
固定負債合計	21,745	21,424
負債合計	60,655	58,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	105,765	108,655
自己株式	△822	△823
株主資本合計	137,141	140,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	635
為替換算調整勘定	△2,047	△3,504
その他の包括利益累計額合計	△2,027	△2,868
少数株主持分	8,904	8,984
純資産合計	144,019	146,144
負債純資産合計	204,674	204,747

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年８月31日）
売上高	36,763	37,466
売上原価	21,044	21,095
売上総利益	15,719	16,370
販売費及び一般管理費	10,405	10,314
営業利益	5,313	6,056
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	176	395
負ののれん償却額	38	38
持分法による投資利益	90	94
保険配当金	96	191
その他	181	247
営業外収益合計	603	984
営業外費用		
支払利息	84	55
為替差損	199	210
その他	131	138
営業外費用合計	415	404
経常利益	5,501	6,636
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	75	59
投資有価証券評価損	288	5
特別損失合計	364	65
税金等調整前四半期純利益	5,137	6,571
法人税、住民税及び事業税	1,573	1,729
法人税等調整額	393	504
法人税等合計	1,967	2,233
少数株主損益調整前四半期純利益	3,170	4,337
少数株主利益	301	353
四半期純利益	2,869	3,984

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年８月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,170	4,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	616
為替換算調整勘定	△188	△1,580
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△182	△965
四半期包括利益	2,988	3,372
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,747	3,143
少数株主に係る四半期包括利益	241	229

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　セグメント情報等

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成23年８月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能化学品事業	医薬事業	セイフティシステムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,188	12,172	4,643	35,004	1,759	36,763	－	36,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	－	1	7	8	△8	－
計	18,190	12,172	4,643	35,006	1,766	36,772	△8	36,763
セグメント利益	3,486	2,457	292	6,236	386	6,623	△1,309	5,313

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,309百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,314百万円、セグメント間取引消去４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年６月１日　至　平成24年８月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能化学品事業	医薬事業	セイフティシステムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,901	12,111	5,052	36,066	1,399	37,466	－	37,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	40	－	－	40	20	60	△60	－
計	18,942	12,111	5,052	36,106	1,420	37,527	△60	37,466
セグメント利益	3,934	2,647	771	7,352	144	7,497	△1,440	6,056

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,440百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,445百万円、セグメント間取引消去４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。